

現地視察地点位置図（下流域）



2 城崎樋門, 城崎排水機場 《概要》
 円山川の下流に位置する城崎地区は、しばしば洪水による内水被害を受けている。そのため、大谿川の内水排除を目的として、円山川からの逆流を防止し、溜まった水を強制的に排除するポンプを設置し、対応している。



3 左岸側無堤地区 《概要》
 円山川には、堤防が整備されていない無堤地がある。



4 ひのそ島 《概要》
 ひのそ島は、円山川の河口からおよそ6km付近に存在する中州であるが、円山川の河道断面の約半分近くを占め、洪水の流下の妨げとなっている。このひのそ島を掘削し、河道断面を増やす必要があるが、ひのそ島には豊かな環境があり、貴重種も確認されている。そこで、国土交通省では、この良好な自然環境を保全しつつ、治水安全度の向上をはかるために、改修検討委員会を設置し、検討を行った。



5 玄武洞 《概要》
 玄武洞は、国の天然記念物に指定されており、円山川周辺の最も重要な文化財の1つである。



6 下鶴井のヨシ原 《概要》
 玄武洞から下鶴井の水門にかけて広がるヨシ原は幅およそ500m長さ2kmにもおよび、有名な琵琶湖の西の湖、淀川の鶴殿、宇治川の向島のヨシ原とならぶ近畿地方最大級のものである。このヨシ原は、イワツバメのねぐらやオオヨシキリの繁殖地となっている。



城崎内水対策
 (城崎樋門, 城崎排水機場)

左岸側無堤地区

ひのそ島

玄武洞周辺

下鶴井のヨシ原

一日市排水機場

軟弱地盤

コウノトリ(県立コウノトリの郷公園)

奈佐川(福田樋門付近)

一日市島

六方川内水対策
 (六方排水機場)

北近畿
 タンゴ鉄道橋

円山大橋

下流域

8 一日市排水機場 《概要》
 豊岡市北部の内水被害を軽減することを目的として、昭和39年に一日市排水機場が建設された。しかし、施設の老朽化に伴い排水能力が低下し被害が増大していたため、県営湛水防除事業として、平成13年度に新設された。



7 奈佐川(福田樋門付近) 《概要》
 昭和34年9月の伊勢湾台風により、豊岡の市街地を除く大部分に堤防決壊や内水による浸水が生じた。中でも奈佐川の福田樋門付近では堤防が決壊し、甚大な被害を受けた。

10 一日市島 《概要》
 円山川の河口からおよそ11kmに位置する中州である。貴重種としてタコノアシ、マツカサススキ等が確認されており、円山川の良好な自然を保っている。しかし、ひのそ島と同じく洪水の流下の妨げとなっている。



12 六方排水機場 《概要》
 六方川と円山川の合流点にあり、六方川の水を円山川へ毎秒30m³排水可能となった。この排水機場の完成により、この区域の排水能力は格段に向上した。(床上浸水対策特別緊急事業)



13 コウノトリ(県立コウノトリの郷公園)(鎌谷川・六方たんぼ・出石川) 《概要》
 円山川流域では昔、特別天然記念物のコウノトリが飛び回っていた。特に、六方たんぼ・出石川では多く、生息していたと言われている。現在、兵庫県により円山川水系自然再生計画検討委員会が行われており、コウノトリが再び住めるような環境について検討が行われている。

11 北近畿タンゴ鉄道橋 《概要》
 第1回流域委員会で指摘のあった橋梁である。橋梁の桁下不足のため、洪水時には危険な状況にある。

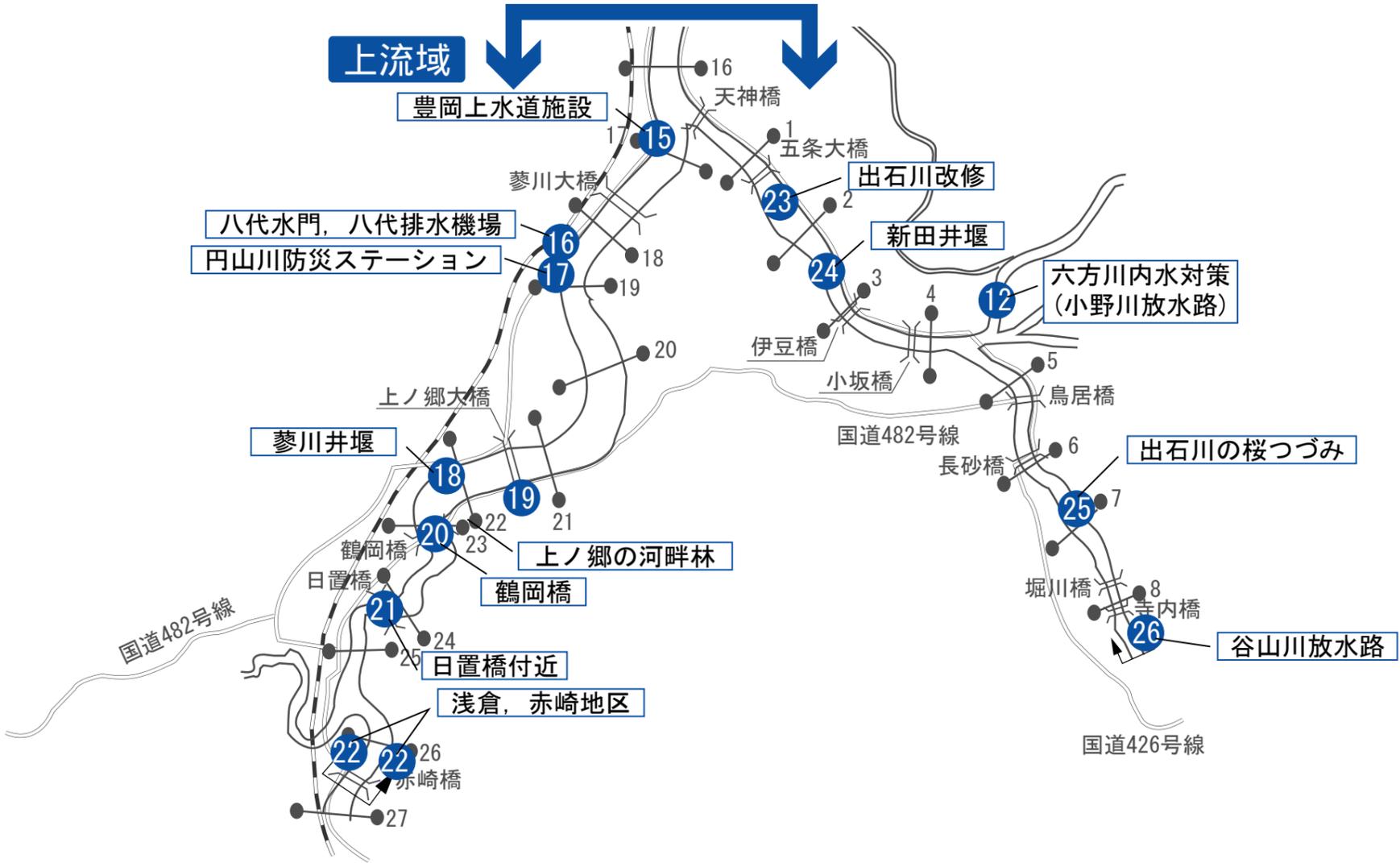


14 円山大橋の付け替え 《概要》
 円山大橋付近では、平成2年9月の洪水において、越水の恐れがあったが、水防活動によりその危機を免れた。国土交通省では、洪水の流れに著しい影響を与えている円山大橋を十分な流下能力が得られる安全な橋(600m上流に)架け替えた。(特定構造物改築事業)

国道482号線

国道482号線
 長砂

現地視察地点位置図（上流域）



15 豊岡市上水道施設 《概要》
 豊岡市上水道は一部円山川から取水を行っているが、平成6年洪水時には塩水がこの付近まで遡上したため、簡易堰を作り、対応した。



23 出石川改修 《概要》
 小野川放水路や、兵庫県が整備した谷山川放水路による流量増に対応した堤防の嵩上げ、拡幅、橋梁付け替えを行っている。

16 八代水門, 八代排水機場
17 防災ステーション 《概要》
 八代水門, 八代排水機場
 内水被害の多い八代川流域において、ショートカットの放水路を設けた。また、八代川合流点に4m³/sの排水能力を持つ八代排水機場が平成11年4月に建設された。
 この排水機場の完成により、この区域の排水能力は格段に向上した。
 防災ステーション
 円山川では、防災活動の拠点として防災ステーションを設け、台風などによる洪水の非常時に1.救援資材の備蓄基地, 2.救援活動基地, 3.被災者の避難場所, 4.情報提供, 5.災害対策用車両の基地として活躍するとともに、平常時は芝生広場, 多目的広場を解放し、地域住民のレクリエーションの場所となっている。



24 新田井堰 《概要》
 出石川の下流部に位置する新田井堰は、六方平野の灌漑用水取水のために設置されている。出石川の多様な生態系に配慮して、左岸側に魚道が設けてある。



19 上ノ郷の河畔林 《概要》
 上ノ郷地区には、エノキやケヤキなどによる近畿地方有数の規模の河畔林が残っている。



12 小野川放水路 《概要》
 六方川上流の小野川・袴狭川・入佐川流域18.2km²(六方川内水対象流域面積の25%)を六方川上流部で出石川に放水させて、下流平地部の内水被害の軽減を図った。



20 鶴岡橋 《概要》
 鶴岡橋は、日高町と出石町を結ぶ重要な橋梁であるが、桁下不足のため洪水の流下を妨げる要因となっている。
 また老朽化により改築の必要も考えられる。



25 出石川の桜つづみ 《概要》
 堤防の背面に盛土を行い、桜等の植樹を行っている。桜を植える部分の堤防は、通常の堤防よりも幅が広がるため堤防強化が図れる。
 また、桜の植樹により潤いのある空間が創出され地域住民のやすらぎ、ふれあいの場となる。



18 蓼川井堰 《概要》
 八代川付近と上ノ郷付近の灌漑用水として、蓼川井堰で円山川の流水をせき止め、取水を行っている。



21 日置橋付近 《概要》
 この付近は、川幅が狭く、特殊堤により背後地の日置地区の集落を守っている。



26 谷山川放水路 《概要》
 河積が狭く勾配が緩やかなため、度重なる水害を引き起こしてきた谷山川の治水対策として、トンネル河川による谷山川放水路が建設された。



22 浅倉, 赤崎地区 《概要》
 浅倉・赤崎地区は円山川・稲葉川ともに無堤箇所が多く、平成2年9月の洪水時には浸水被害を受けた。現在この地区では、築堤工事が進められている。

